

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会2026

移動の選択肢がある社会をめざして 「やさしい交通しが」設立3年間の取組



2026年3月15日

人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀
(やさしい交通しが) 副代表 南村 多津恵

やさしい交通しがとは

正式名：人と環境にやさしい
交通まちづくりプラットフォーム滋賀

「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会2021 in 滋賀」
(2021年7月17日開催)を契機に専門家や実践家が集まって、
2023年6月に設立した任意団体です。

まちづくりに交通を活用する人材を育成することで、持続可能なまちと交通をめざしています。

設立1,2年目は近江鉄道線の上下分離にあわせ、沿線での人材育成に取り組みました。

3年目の今年度は活動を滋賀全域に広げ、滋賀地域交通ワークショップと連動した取組を行ってきました。

代表 宇都宮 浄人 (関西大学経済学部教授
専門は交通経済学)



近江鉄道線の上下分離をきっかけに

背景：上下分離方式の決定により、
近江鉄道線が「地域のもの」に

問題：インフラは確保されたが、住民の意識や
関心が追いついていない

課題：「鉄道をどうするか」から
「鉄道でどうするか」へ

戦略：クルマ社会の滋賀において、まちづくり・
環境活動層へ「交通」の視点を組み込む提案



2023年度 フォーラムで人材育成

実践：まちづくりと交通の広場しが 2023

近江鉄道線を活かした交通まちづくりフォーラム

設計：単発で終わらない継続的な学びの場

焦点：人材育成

プレ企画

カーフリーデーふくい視察

第1回フォーラム

・交通まちづくりの
基本
・ワークショップ

フィールドワーク

近江鉄道100円
デイ視察

第2回フォーラム

・福井県に学ぶ
・ワークショップ

フィールドワーク

近江鉄道沿線の
広場探し

第3回フォーラム

・まちと交通の未
来
・ワークショップ

第4回フォーラム

・市民による交通
まちづくりの実践
・ワークショップ

2023年9月～2024年2月
プレ企画1回、フォーラム4回、
フィールドワーク2回、
フォローアップ企画3回

フォローアップ 研修

・これからどうする
会議

フォローアップ 研修

・イベント企画会
議

フォローアップ 研修

・わくわくこらぼ村
に出展



「まちづくり」に「交通」の視点を！

中日新聞 2023/9/9

2023年(令和5年)9月9日(土曜日)

近江鉄道生かしまちづくり



近江鉄道を生かしたまちづくりを担う人材を育成する連続フォーラムが、10月から始まる。2024年度から、近江鉄道が公有民営の「上下分離」に移行するのを機に、鉄道と周辺地域を盛り上げる機運を高めるべく、市民団体代表や有識者が6月に結成した「入」と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム「びわこ」が企画した。9月23日には、プレイベントが開かれる。

来月から人材育成連続フォーラム

フォーラムは10月から12月までの全4回。第1回は「まちづくり×交通で地域を元気に！」がテーマで、を元気に！」がテーマで、10月9日に東近江市のアビオホールで開かれる。第1部は講演とパネル討議、第2部は参加者同士で意見を交換するワークショップを



「上下分離」移行に合わせ 23日にプレイベント

9月23日はプレイベントとして、市民活動でローカル鉄道を盛り上げる先進地、福井市を視察する。えちぜん鉄道・福井鉄道の田原町駅周辺で開かれる「フリーリーダー」に参加する。

人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム「びわこ」は、交通経済学が専門の関西大の宇都宮浄人教授が代表で、国土交通省の地域交通共創モデル実証プロジェクトを受けて事業を実施する。6日に県庁で開かれた会見で、副代表を務める輪の国ひ湖推進協議会の南村多津恵さんは「沿線の住民はもちろん、まちを何とかしたと、考えている人に幅広く参加してほしい」と話した。

交通まちづくりフォーラムの内容を発表した南村さん(中)ら。県庁で甲賀市内を走る近江鉄道

0180000000
0180000000
0180000000

国土交通省「令和5年度共創モデル実証プロジェクト」採択事業

まちづくりと交通の広場

近江鉄道線を活かした
交通まちづくりフォーラム
参加者募集!

しが2023

誰もが暮らしやすく活力ある地域をつくるには、「移動」のあり方が大きく関わります。開通125周年となる近江鉄道線。もしこの鉄道がなかったらまちはどうなっていたでしょう？車中心の暮らしが続けば、このまちはどうなるのでしょうか？2024年に上下分離、公設民営となる節目を迎える近江鉄道線を題材に、これからのまちづくりを共に考えてみませんか。



日程 10月9日(月祝) 第1回フォーラム まちづくり×交通で地域を元気に!

日程	10月14日(土)	10月12日(日)	10月10日(日)	10月16日(土)
2023年	フィールドワーク(1)	第2回フォーラム	第3回フォーラム	第4回フォーラム
	近江鉄道100円デイでいつもと違うまちを楽しもう	先進事例 交通を変えることでQOLを上げたまち・福井	私たちのまちと交通どないする?	みらいのまちと交通を考えよう
	※第1回~第3回フォーラムの第1部はオンライン配信があります。			

場所 アビオホール(第1回)
東近江市八日市浜野町3-1 ショッピングプラザアビオ4階
近江鉄道八日市駅より徒歩2分
八日市コミュニティセンター(第2回~第4回)
東近江市八日市町9-20 近江鉄道八日市駅より徒歩10分

対象	未来にわくわくしたい、何かやってみたい人(まちづくりや交通に関心のある人、大歓迎!)
定員	第1部(講演とディスカッション) 第1~第3回70人 第4回30人 第2部(ワークショップ、フィールドワーク) 30人 申込み先着順。ただし第2部は全回参加する人を優先
参加費	全日程通し参加 1,000円のみ(2回目以降からの全参加も同様) 会場半発参加またはオンライン参加(第1部のみ) 1,000円/回
主催	人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀
後援	近江鉄道沿線地域活性化協議会(滋賀県、彦根市、近江八幡市、甲賀市、東近江市、米原市、白野町、栗田町、豊郷町、甲賀町、多賀町) 一般社団法人滋賀観光協会、一般社団法人滋賀県バス協会 淡海ネットワークセンター(淡海文化振興財団)、近江鉄道株式会社 NPO法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾 人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)、ほか
協力	一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会 おかつ交通まちづくり推進会、しがローカルSDGs研究会 まちづくりネットワーク東近江、輪の国びわ湖推進協議会
問合せ	人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 事務局 TEL 050-1808-3441(山田) Email yasashii.kotsu.shiga@gmail.com
申込み	以下のURLから各回の3日前までにお申し込みください。 https://yasashii.kotsu.shiga.wixsite.com/machizukuri/blank-1



葉谷浩介さん 第1回に登壇!



まちづくりと交通の広場しが2023

第4回フォーラム 修了式



規定を満たした17人に修了証を、
第4回に参加した全員に参加賞を贈呈



2024年度 提案を実践に移す

方針：1年目フォーラム修了生が学んだだけでなく
自らがプロジェクトを展開
「次の人材を育てながら育つ」

三本立ての実践：

1. ジオラマ制作／高校生・大学生と「理想の駅
周辺」を可視化
2. 駅バル事業／「ガチャフェス」出店プロセス
を通じたマネジメント体験
3. コミュニティ・モバイル・カレッジ／地域の
プレーヤーが語り、地元へ愛着を育む場

ノウハウ講座と成果発表会も開催



まちづくりと交通の広場しが2024



コミュニティ・モバイル・カレッジ



駅カフェ・バル&マルシェ



ジオラマプロジェクト



成果発表・地域交流会
まちのわ会議



市民活動プロデュース講座

2025年度 ビジョンとミッション策定

ビジョン会議の開催：
今後の方針を明確化

【ビジョン】

- ・ 移動の選択肢がある社会
- ・ 100年後も幸せに暮らせる社会

【ミッション】

- ・ 市民の関心を高め、仲間を増やす
- ・ 市民・行政・交通事業者をつなぐ



2025年度 方針に基づき新事業

滋賀県「滋賀の公共交通 未来アイデア会議」と連動した「**まちと交通の未来づくりフォーラム**」を企画



滋賀県の事業 × 市民の企画 × 国交省の補助金
交通まちづくり人材を育成し、住みよいまちづくりを！



まちづくりと交通の広場しが2025

まちと交通の未来づくり フォーラム

ずっと住みたい
幸せのまちをめざして



2回の全体会の間に、彦根・日野・草津の3カ所で3回以上
ずつのフィールドワーク、合計13回からなるフォーラム

2025年8月21日から11月30日開催
まちの暮らしやすさは交通のあり方に
鍵があることを様々な角度から学び、
自分にできることを考えました。

国土交通省 令和7年度「モビリティ人材育成事業」採択事業

あなたの暮らしの希望を
公共交通で叶えます!

全5回

まちづくりと交通の広場しが2025

まちと交通の 未来づくり フォーラム

ずっと住みたい幸せのまちをめざして

「ずっと住みたい」と思えるまちは、どんなまち?
暮らしやすさ、生きやすさ、幸せは、
「移動」を軸に考えると見えやすくなる!
先進事例を聞いたり、まちに繰り出したり。
5つのプログラムを通して滋賀の交通の未来を
一緒に考えましょう!

滋賀の公共交通 未来アイデア会議 運動企画

国土交通省 令和7年度「モビリティ人材育成事業」採択事業

「ずっと住みたい」のまち
を公共交通で叶えよう

交通だけでなく、
地域が元気なまちまで
自分で行けるよ!

暮らしやすさや
幸せのまちをめざして
自分で行けるよ!

第1回フォーラム(全体会)

「住み続けられる
まちと交通」

参加費 無料

2025
8.23 13:30 - 16:30

草津市立市民交流プラザ
大会議室
(JR南草津駅西口フェリス南草津5階)

講演「住み続けられるまちを支える交通の話」
澤谷 浩介さん (地域エコノミスト、(株)日本総合研究所 主席研究員)

報告「滋賀県の交通問題 地域交通ワークショップから」
安々木 和之さん (びわこ学院大学非常勤講師、水色舎代表
滋賀地域交通ワークショップ コーディネータ)

トークライブ「ずっと住みたい幸せのまちを目指して」
澤谷 浩介さん (地域エコノミスト)
橋本 登志子さん (セゾリアンジャーナリスト)
塩見 康博 (立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)
進行: 中野 真 (関西大学経済学部教授/やさしい交通しが代表)

フィールドワークで地域とつながろう!
彦根、日野、草津をセレクト!



主催: 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 (やさしい交通しが)
協力: 滋賀県、大津市市民活動センター、おおつ交通まちづくり推進会、(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク、エコ交通研究会、
しがローカルSDGs研究会、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)、輪の結びおもしろ推進協議会
後援: 滋賀県地域環境活性化推進センター、草津市、彦根市、日野町

詳細、お申し込みは
右の二次元コードから



まちづくりと交通の広場しが2025

フォーラムで生まれた市民からの提案

- 不便を我慢しなくていい、進学を選択肢をあきらめなくていい、送迎に縛られない、環境を悪くしない、そんな社会をみんなをめざそう
- 公共交通「で」社会と環境を良くし、そのために投資し、みんなで育てていこう



まちづくりと交通の広場しが2025

周辺を「芋づる式」に巻き込む

- 2023年から加わった仲間がさらに仲間を呼ぶ形で、若者世代に輪が広がった
- 2025年からは運営の一部を環境団体やまちづくり団体へ委託し、交通に関心のなかった層を巻き込む戦術



3年間の成果と見えてきた課題

成果：仲間の増加、他団体・学生とのネットワーク拡大、滋賀県との強固な連携

課題：補助金に頼らない持続可能な仕組み、一部メンバーへの過度な負担軽減

まだまだやりたいこと、やれてないことはたくさん！ 活動を根付かせたい！



みんなで夢とノウハウを共有しよう

「移動の選択肢がある社会」

「100年後も幸せに暮らせる社会」

まだまだでも、夢に向かって仲間と活動する日々は楽しく充実感があります。

滋賀での経験を全国の仲間と交換し、日本中で交通まちづくりを進めたい。

いっしょに！



みんなで！

もっと

まちづくりと交通の広場しが

2025年度

まちと交通の未来づくりフォーラム

- ・ 日野フィールドワーク
- ・ 彦根フィールドワーク
- ・ 草津フィールドワーク

2024年度

- ・ ジオラマプロジェクト

発表を4本続けてお楽しみください！

